

- 問1 18世紀後半から19世紀にかけてのイギリスでは、技術革新によって社会が大きく変容しました。この時期、綿織物の大量生産を可能にし、のちに鉄道などの交通機関にも利用された動力源と、その主な燃料の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 蒸気機関と石炭
 2. 内燃機関と石油
 3. 水車と薪
 4. 電気モーターと天然ガス
- 問2 明治維新の年表において、1869年の「版籍奉還」と1873年の「地租改正」の間に実施された、中央政府の権限を強化するための改革の内容として正しい説明はどれですか。 (2022年 愛媛公立入試 類似)
1. 藩を廃止して地方行政を政府の直轄とし、旧藩主に代わって中央から官僚を派遣した。
 2. 武士の特権を廃止するために、刀を差すことを禁止する廃刀令を發布した。
 3. 江戸幕府が結んだ不平等条約を改正するため、岩倉具視を代表とする使節団を欧米へ派遣した。
 4. 学制を公布し、身分や性別に関係なくすべての子供が小学校に通う制度を整えた。
- 問3 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。 (2024年 長崎公立入試 類似)
1. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。
 2. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。
 3. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。
 4. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。
- 問4 明治初期、徴兵令の実施や秩禄処分、廃刀令などによって特権を失った不平士族たちは、各地で政府に対する反乱を起こしました。1877年に鹿児島県で西郷隆盛を指導者として起こり、政府軍によって鎮圧された最大かつ最後の武力反乱を何といいますか。 (2015年 岡山公立入試 類似)
1. 西南戦争
 2. 戊辰戦争
 3. 禁門の変
 4. 島原・天草一揆
- 問5 幕末から明治初期にかけての日本の政治的変遷について、一連の流れを正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. アメリカとの条約締結による開港を機に政局が混乱し、反対派を弾圧した大老が暗殺された。その後、新政府は五箇条の御誓文で開国和親の方針を示し、廃藩置県によって中央集権化を進めた。
 2. 尊王攘夷運動の高まりを受けて、幕府は開港した港をすべて閉鎖した。その後、五箇条の御誓文により武士の政治参加を禁じ、廃藩置県で天皇が直接各地を視察する制度を整えた。
 3. 大老が暗殺されたことで幕府の権威が回復し、五箇条の御誓文によって幕府と朝廷が協力する公武合体が完成した。その後、廃藩置県によって地方の自治権が強化された。
 4. 欧米諸国の圧力に抗して開国を拒絶し続けたが、五箇条の御誓文によって鎖国体制の継続が宣言された。その後、廃藩置県によって旧来の身分制度がより厳格に定められた。
- 問6 地租改正の実施に際して、明治政府が土地の所有を認めた証として所有者に交付し、その表面に地価や納税者名などを記載した証書を何といいますか。 (2024年 京都公立入試 類似)
1. 地券
 2. 藩札
 3. 株札
 4. 地租改正反対一揆の嘆願書
- 問7 朝鮮への出兵をめぐる議論（征韓論）に敗れて政府を去った板垣退助が、その後、国民の政治参加を求めて展開した活動として最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 民権議院設立建白書を提出し、自由民権運動を開始した
 2. 領事裁判権の撤廃を目指し、欧米諸国との条約改正交渉に尽力した
 3. 学制や兵役法を整え、富国強兵を推進する政策を打ち出した
 4. 土族の反乱である西南戦争を指導し、政府軍と戦った
- 問8 1879年に明治政府が軍隊を派遣し、琉球藩を廃止して沖縄県を設置した背景や目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)
1. 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため
 2. 琉球王国による独自の貿易を奨励し、アジア全体との経済交流を深めるため
 3. 欧米列強の進出を防ぐため、琉球を日本から独立した中立地帯にするため
 4. 鹿児島県の一部であった琉球を分離させ、住民の自治権を拡大するため
- 問9 明治時代の初期、それまでの伝統的な生活様式に代わって欧米の文化や制度が積極的に取り入れられ、都市を中心に衣食住や社会全体のあり方が大きく変化した現象を何といいますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 文明開化
 2. 富国強兵
 3. 殖産興業
 4. 下意上達
- 問10 1870年代後半から約20年間の統計資料によると、政府の地租収入は大きな変動がなく、長期にわたって一定の水準で維持されています。明治政府が地租改正によってこのように租税収入を安定させることができた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 富山公立入試 類似)
1. 豊作や不作といった農作物の収穫量の変動に左右されない地価を課税の基準としたため
 2. 米の市場価格が上昇した際に、それに応じて税率を自動的に引き上げる仕組みにしたため
 3. 土地の所有者ではなく、実際に耕作を行っている小作人に直接納税の義務を負わせたため
 4. 農村の反発を抑えるため、地価そのものを毎年の景気に合わせて頻繁に書き換えたため
- 問11 江戸時代の「検地帳」と明治時代の「地券」という2つの資料を比較したとき、地租改正によって新しく導入された考え方として説明できるものはどれですか。 (2021年 岡山公立入試 類似)
1. 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた
 2. 土地の広さに関わらず、栽培する作物の種類によって税率を決定した
 3. 実際に土地を耕している小作人を保護し、収穫物の大半を小作人のものとした
 4. 土地の売買を厳しく制限し、先祖代々の土地を失わないようにした
- 問12 日本の近代化における主な出来事をまとめた年表において、1868年に開始されたとされる「戊辰戦争」の背景や対立関係について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 王政復古の号令によって実権を失った旧幕府側の勢力と、薩摩・長州を中心とする新政府軍が武力で衝突した。
 2. 長州藩が攘夷を決定して外国船を砲撃したことに対し、イギリスなどの四ヶ国連合艦隊が報復攻撃を行った。
 3. 明治政府による徴兵令や土族の特権廃止に不満を持った土族たちが、西郷隆盛を担いで九州で挙兵した。
 4. 薩摩藩の島津久光の行列を横切ったイギリス人を、藩士が殺傷したことで国際的な問題となった。
- 問13 明治政府が行った地租改正の仕組みと、その際に発行された「地券」について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 和歌山公立入試 類似)
1. 土地の所有権を認める地券を交付し、収穫量ではなく地価を基準として税を現金で納めさせた。
 2. すべての土地を国家のものとする公地公民の原則に基づき、地券を持つ者にのみ土地の利用を許可した。
 3. 江戸時代の株仲間のような特権を与え、その見返りとして商人に地券を発行し運上金を徴収した。
 4. 地券を所有する農民に対し、従来の年貢と同様に、その年の収穫高に応じた量の米を納めさせた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 蒸気機関と石炭	産業革命期のイギリスでは、ワットらによって改良された蒸気機関が普及し、それまでの水力や人力を上回る圧倒的な動力を得ることが可能になりました。この蒸気機関を動かすための主要なエネルギー源として石炭が大量に採掘され、工業化の進展を支えました。この動きは綿工業から始まり、のちに製鉄業や鉄道、蒸気船といった交通の分野へも広がっていきました。
問2	答え 1 藩を廃止して地方行政を政府の直轄とし、旧藩主に代わって中央から官僚を派遣した。	1871年に実施された廃藩置県は、版籍奉還後の不十分な統治体制を打破するために行われました。版籍奉還では旧藩主が「知藩事」として各地を治め続けていたため、依然として各地域に独自の権力が残っていました。これを完全に廃止し、政府が任命した府知事や県令を派遣することで、政府の命令が全国に行き届く中央集権体制を確立したことが、その後の地租改正や徴兵令といった大規模な改革の土台となりました。
問3	答え 1 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問4	答え 1 西南戦争	明治政府の近代化政策によって、それまで特権階級であった士族は、帯刀の禁止や家禄（給料）の打ち切りといった厳しい状況に追い込まれました。これに不満を抱いた不平士族たちは各地で反乱を起こしましたが、1877年の西南戦争が政府軍に敗北したことで、武力によって政府を打倒することは不可能であると悟り、その後の運動は自由民権運動などの言論による政治闘争へと移り変わっていきました。
問5	答え 1 アメリカとの条約締結による開港を機に政局が混乱し、反対派を弾圧した大老が暗殺された。その後、新政府は五箇条の御誓文で開国和親の方針を示し、廃藩置県によって中央集権化を進めた。	幕末、井伊直弼が勅許を得ずに日米修好通商条約を結び開港したことは、尊王攘夷派の激しい反発を招き、桜田門外の変で大老が暗殺される事態に至りました。その後、政権を握った明治新政府は、五箇条の御誓文において「広く会議を興し、万機公論に決すべし」や「知識を世界に求め」といった方針を打ち出し、旧来の藩制度を廃止して県を置くことで、近代的な中央集権国家の基礎を築きました。
問6	答え 1 地券	地租改正において政府は、全国の土地を測量して土地の所有者を確定させました。その際、土地の所有権を公的に証明し、納税の義務を明確にするために発行されたのが「地券」です。これによって江戸時代のような複雑な権利関係が整理され、土地が個人の財産として売買や担保の対象になるという近代的な土地所有制度が整いました。
問7	答え 1 民撰議院設立建白書を提出し、自由民権運動を開始した	征韓論に敗れて下野（官職を退くこと）した板垣退助は、一部の官僚が権力を握る政府のあり方を批判しました。彼は国民が選んだ議員による議会の開設を求め、1874年に民撰議院設立建白書を提出。これがその後の自由民権運動の出発点となりました。
問8	答え 1 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため	当時の琉球は、日本（薩摩藩）と清（中国）の両方に属するような複雑な立場にありました。明治政府は近代的な主権国家として国境を確定させるため、琉球が清へ朝貢することなどを禁止し、日本の地方行政単位である「沖縄県」を設置することで、日本の主権が及ぶ範囲であることを国際的に宣言しようとした。
問9	答え 1 文明開化	明治政府が近代国家を目指す中で、西洋の技術や思想、生活習慣が急速に広まりました。煉瓦造りの建物やガス灯、太陽暦の採用、ザンギリ頭、牛鍋を食べる習慣などがその代表例であり、これらを通じた社会の近代化を文明開化と呼びます。
問10	答え 1 豊作や不作といった農作物の収穫量の変動に左右されない地価を課税の基準としたため	江戸時代の年貢は「収穫高」を基準にしていたため、天候不順などによる不作が起こると政府の収入が激減し、予算が立てにくいという課題がありました。地租改正では、土地の価値を固定した「地価」を基準にしたため、作物の出来不出来に関わらず一定の租税収入が見込めるようになり、国家予算の編成が容易になりました。これにより明治政府の財政基盤は大きく安定することとなりました。
問11	答え 1 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた	江戸時代の検地帳には実際に耕作を行う者の名前が記されていましたが、地租改正で発行された地券には、土地の価値である「地価」とともに、その土地の「所有者」が明記されました。これにより土地の私有権が法的に認められ、土地の売買も自由になりましたが、同時に地主が納税の責任を負う仕組みとなりました。
問12	答え 1 王政復古の号令によって実権を失った旧幕府側の勢力と、薩摩・長州を中心とする新政府軍が武力で衝突した。	1867年の大政奉還によって江戸幕府は終了しましたが、その後の王政復古の号令によって徳川氏の領地返上などが求められたため、これに不満を持つ旧幕府軍と、新政府の主軸である薩摩・長州藩との間で戦いが起こりました。これが戊辰戦争です。他の選択肢にある四ヶ国連合艦隊との戦いは下関戦争、不平士族の反乱は西南戦争、イギリス人殺傷事件は生麦事件の内容です。
問13	答え 1 土地の所有権を認める地券を交付し、収穫量ではなく地価を基準とした税を現金で納めさせた。	地租改正では、地券によって土地の所有権を明確にすると同時に、税率を「地価の3%（のちに2.5%）」と決めました。収穫量（豊作・不作）に左右される米による納税ではなく、地価を基準とした現金での納税（金納）に変更したことで、政府は天候に関わらず毎年一定の予算を組むことができるようになりました。